

沖縄戦“終結”から79年

辺野古・大浦湾を 埋め立てないで!



79年前の6月23日は、県民の4人に1人の命が奪われた沖縄戦の組織的戦闘が終結した日です。この体験から沖縄の人たちは、『命こそ宝』の思いで平和を希求してきました。しかし願いは踏みにじられ、今なお巨大な米軍基地が居座るばかりか、自衛隊基地の増強まで強行されています。

戦争犠牲者が眠る土砂を…

岸田政権は、地方自治体の権限を奪う「代執行」という強権的な方法で、沖縄県名護市の辺野古・大浦湾の豊かな海を埋め立て、新たな米軍基地を建設しようとしています。しかもその埋め立てに、沖縄戦の犠牲者の遺骨が眠る南部の土砂を使おうとしています。

普天間基地は無条件撤去を

辺野古の新基地建設は、「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の「移設」だというのが国の説明です。しかし昨年11月に墜落した米軍オスプレイが、事故原因も不明なまま飛行再開したり、基地周辺は夜間も様々な軍用機が低空飛行したりしているのに、政府はこれを放置しています。他方で新基地は耐用年数100年、普天間基地になかった新機能を加え、事故を繰り返すオスプレイを有事には100機展開する、一大要塞化計画です。

辺野古の新基地は普天間基地の代替ではありません。普天間基地の危険性除去は、普天間基地の運用停止と撤去でこそ実現できます。

6/16は沖縄県議選

玉城県政支える 県議会を!



辺野古の新基地建設計画に、沖縄県民は住民投票や各種選挙などで何度も反対の意思を表明してきました。辺野古中止を掲げて当選した玉城デニー知事を支えるのが、県議会の半数を占める「オール沖縄」の議席です。県議選が6月16日投開票で行われます。基地建設を止める議席を増やそうと、県外からもエールを送ってください。



辺野古新基地建設工事中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも!

日本平和委員会

2024年6月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

